

## 様式 7

### 大崎市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問い合わせください。

情報の利用停止を希望された場合でも、治療に影響が出ることはありませんので、安心してお申し出ください。

研究課題名	悪性腫瘍患者に対するがん薬物療法の効果, 安全性に関する後方視解析
当院の研究責任者	所 属 : 腫瘍内科 氏 名 : 坂本 康寛
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	大崎市民病院腫瘍内科における各臓器の悪性腫瘍患者に対するがん薬物療法の効果, 安全性を後方視的に解析することにより, 当施設における治療戦略の現状を明らかにすること。 以下のがん腫を対象とする。 ①大腸癌, ②胃癌, ③食道癌, ④膵癌, ⑤胆道癌, ⑥小腸癌, ⑦軟部肉腫, ⑧神経内分泌腫瘍, ⑨原発不明癌
対象者	2010年10月から2020年9月までに, 大崎市民病院腫瘍内科で, 日常診療としてがん薬物療法を施行した悪性腫瘍患者の診療情報を後方視的に集積する。
調査データ 該当期間	西暦2010年10月1日 ~ 西暦2020年9月30日
研究の方法 (使用する試料等)	①大腸癌 1,000例, ②胃癌 800例, ③食道癌 300例, ④膵癌 300例, ⑤胆道癌 100例, ⑥小腸癌 30例, ⑦軟部肉腫 50例, ⑧神経内分泌腫瘍 50例, ⑨原発不明癌 100例 を対象とする。 がん薬物療法の内容(治療レジメン, 各薬剤の用量など), 生存期間(全生存期間, 無増悪生存期間, 治療成功期間), 奏効率, 病勢制御率, 有害事象の程度を診療カルテから抽出する。 上述の疾患別, さらに同一疾患内あるいは疾患横断的に, 治療レジメン別で, 生存期間, 奏効率, 病勢制御率, 有害事象の程度などを後方

	的に解析し，がん薬物療法の有効性と安全性の評価を行う。
使用する試料等	情報：病歴，治療歴，副作用等の発生状況，カルテ番号 等
試料情報の他の研究機関への提供および提供方法	該当なし
個人情報の取り扱い	匿名化する
本研究の資金源（利益相反）	ありません
お問い合わせ先 （照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先）	住所：大崎市古川穂波三丁目8番1号 電話：0229-23-3311 研究責任者 大崎市民病院 腫瘍内科 坂本 康寛
備考	